

東京バッハ合唱団 月報

[第 589 号] 2011 年 7 月号

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 5-17-21-101 郵便振替：00190-3-47604
Tel：03-3290-5731 Fax 専用：03-3290-5732
mail: bachchortokyo@aol.com http://www2.tky3web.ne.jp/~bach/chor/

BACH-CHOR, TOKYO

Monthly Newsletter No.589

July 2011

5-17-21-101 Funabashi,
Setagaya-ku, Tokyo

野尻湖コンサート (第 38 回) バッハの合唱とピアノの午後

日時：2011 年 8 月 6 日 (土)

[開演] 午後 4 時 ([終了] 5 時 30 分予定)

会場：野尻湖畔 神山教会 (NLA オーデトリウム)

入場無料

「野尻湖コンサート」は、東京バッハ合唱団が、夏の合宿にあわせて、信州・野尻湖畔の神山国際村でおこなうチャペルコンサートです (入場無料)。1965 年の第 1 回に始まり、海外演奏旅行や集中練習など、夏休みを利用した特別な計画のある場合をのぞくほぼ毎年、バッハの合唱曲やピアノ曲などの室内楽をお届けしてきました。

そして、一昨年が第 5 回目のドイツ演奏旅行、昨年は《口短調ミサ曲》夏季公開集中練習と、じつに 2 年つづきのごぶさたとなってしまうりましたが、今年も、国際村 (野尻湖協会 NLA。右下囲み参照) や周辺に長期滞在する避暑の方々が首を長くして待っていてくださるとのこと、良い演奏をお聞かせしたいものです。

< プログラム >

1. バッハ・カンタータ第 71 番《主は わが君》
2. ブラームス《インテルメッツォ》(ピアノ独奏)
休憩
3. バッハ《ミサ曲口短調》より
4. バッハ・コラール《イエス わが心の愉しみ》
(BWV 147 より)

【当月報 p.2, 3 に、歌詞 (訳詞/原詞) を掲載しました】

< 出演者 >

合唱 = 東京バッハ合唱団

ピアノ = 内山亜希 (独奏/伴奏)

指揮/訳詞 = 大村恵美子



在りし日の野尻湖コンサート
第 14 回 (1980 年)、ピアノ伴奏は西川秀人氏。近年、会場の神山教会は、多目的の「オーデトリウム」と呼ばれている。左下は外観。

今夏、信州方面にお出かけの予定のある方は、ぜひここまで足を伸ばしてみてください。自家用車での入村は規制されていますが、野尻湖バスターミナルの近くには大きな駐車場があります (会場まで徒歩 10 分ほど)。夕方の終了予定ですので、ターミナルから黒姫駅行きのバス (信濃交通バス) も使えるはずです。

野尻湖と外国人

明治に入ってから富国強兵政策に基づく政府の招きで来日した外国人講師達は、日本の蒸し暑い夏にたいそう参ったようで避暑地探しに没頭したらしい。かくしてその一部の講師達が軽井沢という格好の地を見つけることになるのは明治の中期のことである。避暑をするという概念は、きっとこの時に生まれたものであろう。それから日本在住の外国人は続々と軽井沢で夏を過ごすようになり、それに伴い日本の皇族や華族達が住むようになっていき、徐々に現在のかたちになっていった。その中でもカナダ人は自分の国土が森と湖に満たされた土地だったため、軽井沢では飽きたらず他の場所をさがしていた。彼らは自らを水陸両棲人間と言う人もあるくらい水に親しみ、自分のふるさとにより近い風土を求めていた。そんななかで唐松などの針葉樹の森と野尻湖という湖に囲まれた、故郷に似た土地と知り合う事になる。地元の池田万作氏の力を借り、神山地区に NLA (Nojiri Lake Association) が誕生したのは、大正 10 年の事である。

[松原和幸建築研究所・松原和幸氏のサイトより引用]
<http://www.zephyr.dti.ne.jp/~matubara/About/about.htm>



カンタータ第71番（主はわが君）

Gott ist mein König BWV 71

1. 合唱

主はわが君 ところよに
救いを地に なしたもう

(Gott ist mein König von altersher, der alle Hilfe tut,
so auf Erden geschicht.)

(詩編 74:12)

2. コラール(ソプラノ独唱)付きアリア(テノール)

われ 老いたり

僕(しもべ) なお 重荷と ならんや

われは 世に あり

かたく 歩まん

苦しみの 世に

わが 老ゆる 日まで

帰らしめよ おのが まちに

護りませ われを

罪と 恥じ より

死なしめよ 父母の 墓の かたえに

白き 髪に

栄え あらしめたまえ

(Ich bin nun achtzig Jahr, warum soll dein Knecht
sich mehr beschweren?)

Soll ich auf dieser Welt

Mein Leben höher bringen,

Durch manchen sauren Tritt

Hindurch ins Alter dringen,

Ich will umkehren, daß ich sterbe in meiner Stadt,

So gib Geduld, für Sünd

Und Schanden mich bewahr,

Auf daß ich tragen mag

bei meines Vaters und meiner Mutter Grab.

Mit Ehren graues Haar.)

(サムエル記下 19:36, 38)

(Johann Heermann, O Gott, du frommer Gott 1630 第6節)

3. 合唱

老いにも 若きにも

主は なれに います とわに

(Dein Alter sei wie deine Jugend,

und Gott ist mit dir in allem, das du tust.)

(原詞 1行目:申命記ルター訳 33:25 後半, 2行目:創世記 21:22)

4. アリオージョ(バス)

昼も 夜も みな ながもの なり

なれは 日と 星をば 巡らせたもう 定かなる 道に

立てたもう いずこにも その 境(さかい)を

(Tag und Nacht ist dein. Du machest, daß beide,
Sonn und Gestirn, ihren gewissen Lauf haben.

Du setzest einem jeglichen Lande seine Grenze.)

(詩編 74:16,17)

5. アリア(アルト)

み力 もて

なれは われらに

安き 地を たもう

戦(いくさ)の 嵐

たけり合うとも

危うき ときも

なれは 救いを たまえり

み力 もて

(Durch mächtige Kraft

Erhältst du unsre Grenzen,

Hier muß der Friede glänzen,

Wenn Mord und Kriegessturm

Sich allerort erhebt.

Wenn Kron und Zepter bebt,

Hast du das Heil geschafft

Durch mächtige Kraft!)

6. 合唱

なれは 仇(あだ)に 渡したまわじ

なが 鳩の いのちを

(Du wollest dem Feinde nicht geben die Seele deiner
Turteltauben.)

(詩編 74:19)

7. 合唱

新たな 統治

いずこにても

祝したまえ

平和と 栄えは

新たな 統治に

つねに あれかし

(Das neue Regiment

Auf jeglichen Wegen

Bekröne mit Segen!

Friede, Ruh und Wohlergehen

Müsse stets zur Seite stehen

Dem neuen Regiment.)

いざ 勝ち歌を

ヨーゼフよ

日々 あらたに 喜べ

なが民 ものみな

またく やすらなり

いざ 勝ち歌を!

(Glück, Heil und großer Sieg

Muß täglich von neuen

Dich, Joseph, erfreuen,

Daß an allen Ort und Landen

Ganz beständig sei vorhanden

Glück, Heil und großer Sieg!)

バッハ（ミサ曲口短調）より
Messe in h-Moll BWV 232

合唱(4a.)

グローリア 高き 天なる神に
(Gloria in excelsis Deo)

合唱(4b.)

地に平和 主の民にあれや
(Et in terra pax hominibus bonae voluntatis)

合唱(9b.)

み霊とともに み栄えのうちに アーメン
(Cum Sancto Spiritu in gloria Dei Patris, Amen)

合唱(15.)

主は 甦(よみがえ)りたもう 三日のちに
書に記(しる)されしごと
み天(そら)に昇り 父なる 神の右に 座せり
また 栄光もて 帰りきたり
生けるもの 死せるものを 審きたまわん
み国は 終わりなし
(Et resurrexit tertia die secundum scripturas,
et ascendit in coelum, sedet ad dextram Dei Patris,
et iterum venturus est cum gloria
judicare vivos et mortuos, cuius regni non erit finis)

アルト斉唱(22.)

小羊 世の罪 除くもの
われらに 憐れみを
(Agnus Dei qui tollis peccata mundi, miserere nobis)

合唱(23.)

平和を われらに
(Dona nobis pacem)

バッハ・コラール（イエス わが心の愉しみ）
Choral „Jesu, meiner Seelen Wonne“ BWV 147 より

6.

主は われに います
わが 心の 主
悲しめる ときの
友なる わが イエス
主は われを 愛し
その 身を 賜いぬ
イエス 君の もと
われは 離れじ
(Wohl mir, daß ich Jesum habe,
O wie feste halt ich ihn,

Daß er mir mein Herze labe,
Wenn ich krank und traurig bin.
Jesum hab ich, der mich liebet
Und sich mir zu eigen gibet;
Ach drum laß ich Jesum nicht,
Wenn mir gleich mein Herze bricht.)

(Martin Jahn „Jesu, meiner Seelen Wonne“ 1661 第6節)

16.

イエス わが 喜び
心の なぐさめ
悩み しずめたもう
いのちの 力
かがやける 光
とうとき わが 宝
イエス 君の もと
われは 離れじ
(Jesus bleibet meine Freude,
Meines Herzens Trost und Saft,
Jesus wehret allem Leide,
Er ist meines Lebens Kraft,
Meiner Augen Lust und Sonne,
Meiner Seele Schatz und Wonne;
Darum laß ich Jesum nicht
Aus dem Herzen und Gesicht.)

(Martin Jahn 同上 第16節; 旋律 Johann Schop 1642)

<出演者プロフィール>

ピアノ：内山 亜希

東海大学教養学部芸術学科音楽学課程卒業。読売新人演奏会、神奈川県立音楽堂新人演奏会に出演。その後同大学大学院において音楽学を専攻、修了後渡独。国立フライブルク音楽大学大学院リート科修了、帰国後リサイタルや演奏会、NHK-FM リサイタルなどで声楽、管弦楽器、合唱の伴奏を中心に活動。これまでに山田明美、故内藤三保子、高橋裕希子、ラモン・ヴァルター各氏に師事。ハヤサカ音楽教室講師。東京バッハ合唱団ではコレペティトル・ピアニストとして活躍。

合唱：東京バッハ合唱団

教会カンタータを中心に、モテット、オラトリオなどJ.S.バッハの作品のみを演奏し、研究する団体として、1962年大村恵美子の呼びかけで組織された。定期演奏会では日本語訳詞での上演を原則とする。これまでに5度にわたり、ライブツィヒ聖トマス教会などドイツ各地での公演を果たす。2012年に創立50周年を迎える。

指揮/訳詞：大村 恵美子

東京バッハ合唱団主宰者。東京芸術大学楽理科・同作曲科、ストラスブール大学および音楽院で学ぶ。在学中よりバッハのカンタータ演奏を志し、留学を終えると同時に合唱団を創立、年数回の公演を実現させつつ今日に至る。現在、教会カンタータ日本語版楽譜全集を継続刊行中。2011年3月『バッハ コラール・ハンドブック』刊行（春秋社）。



東京バッハ合唱団
2012 年 7 月 創立 50 周年

バッハ合唱団をとりまく人々

[第 5 回]

大村 恵美子

第 1 回の、はなばなしいヨーロッパ演奏旅行を実現させてくださったのは、そのころの日本 DDR(ドイツ民主共和国:東ドイツ)文化協会事務局長小泉八郎氏でした。彼のご尽力で、東ドイツ芸術公団総裁ファルク氏の全面的受け入れをとりつけることができ、労働ヴィザを携え、日本からの初の合唱団として国賓あつかいの歓迎をも受けつつ、第一級の演奏会場での公演が実現したものでした(1983 年)。(第 2 回からは、私たちの希望で、東ドイツのキリスト教伝道組織、ドイツ東アジアミッションに受け入れが引き継がれることになりました。)

当時の駐日東ドイツ大使は、ホルスト・ブリー氏で、私の定期演奏会での指揮のごく初期に、ご息子ともどもご夫妻で来聴くださり、その後なんども、私や合唱団員を大使館のイベントに招待して下さったりしました。

合唱団の最初期に、カトリック板橋教会のゲレオン・ゴルトマン神父のお寄せくださった親身な愛情も、方針の定まらなかった、出来立ての合唱団にはとりわけ尊いものでした。

普段の練習時にも、メーランベルジェ(ガブリエル:ガブさん、フランス)、アバース(ドイツ)、ヴィリエルモ(アメリカ)その他数人の方々が、私たちと同じように日本語でバッハを歌って楽しまれました。なかでもヴァルブレヒト一家は、父ゲルハルト氏(当時、新日本フィル所属)がヴィオラ、長女ナナさんはヴァイオリン、長男洋君はチェロ、末娘すみれさんはソプラノ団員と、総勢で合唱団を盛り立てて下さいました(母幸子さんはピアニスト)。ゲルハルト氏は、この合唱団の演奏には心から共鳴する、と言っておられました。2001 年にドレスデンに移住、名残惜しいことでした。



第 1 回ヨーロッパ巡演を前に、これも松山与志雄牧師(前回、月報 588 号)のご紹介で、フランスのテゼ共同体の聖職者 3 人(マルク、シルヴァン、ジャンポール)が、練習後にドイツ語を教えに来られ、私たちもはるばるテゼ共同体(リヨン近郊)を訪ねて、演奏させていただきました。

ヴァルブレヒト夫妻
(2001 年、千歳船橋・大村宅前)

ライプツィヒは、合唱団と一緒に 3 回ほど訪れましたが、私が 1982 年の旅行中に友人となったイルゼ・キーゼヴェッター(グラフィックデザイナー)が、家族の方々と毎回、演奏会に来聴され、団員たちのお買い物を手伝ったり、おみやげをくださったりしました。私は、ドイツ滞在ごとにイルゼ家を定宿にしていました。現在でも、メールを交し合っています。

前回ご紹介したシュトゥットガルト・ゲヒンガー・カンタライのメンバーと東京バッハの団員たち。リリング氏は、この前日の朝食時に来店。



店内の彼らの歌声は、深夜の表通りにまで響きわたった。卓上に桜の枝が見える(下)。世田谷区経堂のカフェハウス・バッハにて(1984 年)。

第 106 回定期演奏会(創立 50 周年記念公演)

(口短調ミサ曲)日本語演奏初演

[日時] 2011 年 12 月 3 日(土) 14:00 開演

[会場] 杉並公会堂(東京・荻窪)

2011 年 7 月 1 日、チケットの発売を開始しました。事務局までお申し込みください。

後援会員・団友のみなさまには、10 月ごろまでに、ご招待状をお届けいたします。お早めにご予定にお加えください。

東京バッハ合唱団<創立 50 周年記念ファンド>報告

(2011 年 6 月 20 日現在)

募金達成額: 880,000 円(応募 45 名)

当ファンドは、「合唱団運営の安定を図り、創立記念事業を助成すること」を目的に、本年 1 月に発表して、募金を開始いたしました。3 月 11 日の大震災はその矢先のことでしたので、準備したパンフレットを、本格的にお配りすることもできず、半年を経過してしまいました。

このたび、当月報のお届けにあわせ、あらためてご案内をお送りさせていただきますので、ご協力のほど、よろしく申し上げます。